

地方CR活動

大阪府協会

スクールソーシャルワーク評価支援研究所へ寄付金を寄贈しました

大阪府協会(会長:石井雄三 住友生命大阪中央支社長)は、スクールソーシャルワーク(SSW)の研究・普及に携わる大阪公立大学現代システム科学研究所(山野則子教授)、スクールソーシャルワーク評価支援研究所(同所長)に50万円を寄付しました。

SSWとは、学校を基盤として、児童・生徒の抱える問題に主に環境面からのサポートを行うことを目的とし、学校・福祉事務所・親など関係者全員がうまく連携できよう調整する役割を担っています。

山野教授は、SSWの普及促進をはじめ、貧困や孤独など支援が必要な児童・生徒の潜在的なSOSをスクリーニング作業で早期発見し、学校と地域・専門機関の連携を促進し、適切な支援につなぐサービスの研究・開発も進めています。「子どもの貧困問題など様々な問題の存在に対して、より多くの人・企業に認識してもらい、『子ども真ん中の社会』が実現できたらと思います。そのためにも皆様のご協力をお願いします」と述べられました。

当協会は今後も継続的な支援活動を実施してまいります。

